

大和ロータリークラブ 週報

Yamato Rotary Club Weekly

<http://www.yamato-rc.org>



<伊藤彦二会員>

私はロータクトについてお話をさせていただきます。過去、大和RCはロータクトに積極的に取り組み、多い時には30名を超える会員数を有していましたが、残念ながら2004年には34年続いたロータクトクラブを終結することになりましたが、過去の資料を紐解くと様々な時代背景があることに気づきます。大切なことは、一つの事業を継続する、中止するといった判断をするに当たり、現会長、直前会長、エレクト、ノミネーに当たる方々が将来のクラブ像を標榜して活動内容を決定していくプロセスを大切にすることだと考えます。また過去実施した様々な奉仕活動に対しメンテナンスを行うことも大切です。寄贈したモニュメントに痛みは出ていないか、植樹した木々は元気に成長しているか…新しいことをやるにしても、過去行った事業を精査することも忘れてはいけません。



<三浦高義会員>

私は本日のフォーラムを通して、過去に大和クラブが行った様々な素晴らしい青少年奉仕事業を知ることが出来ました。それらを踏まえた上で、私の思う青少年奉仕は、“その場、その場”での支援活動をするよりも、青少年たちの“未来の夢”につながるような青少年奉仕活動の実践です。例えば、職業奉仕という観点から(私たちが有する)多岐に亘る“職業の魅力”を伝えていくこと…学校のカリキュラムでは教えてくれない職業(仕事)の本音や魅力を職業人である私たちが伝えていくこと…このような奉仕活動を実践したいと思いました。



お祝い報告
(三浦親睦委員)



奥様誕生日お祝い
(伊藤会員)



| 今後の情報 | 日付 | 時間 | 回数 | プログラム内容 |
|-------|-----------|-------|------|-------------------------|
| | 6月 6日(火) | 12:30 | 2592 | 卓話 |
| | 6月 13日(火) | 12:30 | 2593 | 卓話 |
| | 6月 20日(火) | 18:30 | 2594 | 【夜間例会】第6回クラブ協議会「1年を終えて」 |
| | 6月 27日(火) | 12:30 | 2595 | 会長・幹事あいさつ「1年を省みて」 |

| 例会日 | 会員数 | 出席 | 出席% | 欠席 | 欠席者名 |
|----------|--------|--------|-------|----|----------------|
| 5月16日(火) | 36(12) | 前々回 30 | 90.91 | 3 | 粉山・本田・森川 |
| 5月23日(火) | 36(12) | 前回 26 | 83.87 | 5 | 本田・森川・戸張・田辺・片山 |
| 5月30日(火) | 36(12) | 本日 | | | |

【大和ロータリークラブ活動方針：楽しい奉仕活動を】

例会場 / 北京飯店 4F
例会日 / 毎週火曜日12時30分～13時30分
事務局 / 大和商工会議所内 TEL046-263-7926
会長 / 宮東 悠 **幹事** / 伊藤 健司
会長エレクト / 武田 茂 **副幹事** / 森川 良三
事務局 e-mail / jimukyoku@yamato-rc.org

第2589回 2017年5月23日(火)

司会 / 長谷川 衛 会員
S. L. / 相原 聡 会員
斉唱 / 「我等の生業」
ゲスト / ナシ
ビジター / 大和中RC 高橋 清 様

会長の時間

宮東 悠 会長

こんにちは。5月も後半に入りいよいよ本年度も最後の仕上げと、次年度への引き継ぎも順調に推移しております。よろしく願いいたします。



今年度は伊藤幹事始め、各奉仕委員の方々に大変お世話になりました。しかし、まだ1カ月以上もありますので、残りの日数を大切にしていきたいと思えます。

さて5月は「青少年奉仕月間」です。大和ロータリークラブも以前はロータクトクラブがありました。しかし現在まで多くのロータクトメンバーの中からも一人も大和ロータリーに入会した方はおられません。

今年度は会員増強にも力を入れ、多くの会員のご協力によりまして2780地区66クラブ中、上位でした。しかし、まだまだ安心はできません。今年度大和ロータリークラブに入られた会員のみな様いかがですか?

「なかなか出席できない」と言われる方もおられますと思いますが、「仕事は忙しいし、業界や地域の付き合いもあ

るし、毎例会にでるなんてムリ」。その上、地区大会やクラブ奉仕活動も。しかし、毎週欠かさず例会に出席したり、奉仕活動にいつも参加している会員の中にも、忙しい人がたくさんいます。

ロータリアンのほとんどが忙しい仕事を持ち、仕事以外のさまざまな分野でも活躍しています。誰もが平等に与えられた1日24時間ですが、その使い方が上手な人はたくさんの方が出来るのではないのでしょうか? もうすぐ新しい年度が始まりますが、入会して2年目、3年目になりますと、少しずつクラブの仕事がふえてくるかもしれません。奉仕活動に参加するよう誘われたり、企画を任せられるようになるかもしれません。

皆様の新鮮なアイデアを頼もしく思っています。忙しいスケジュールをうまく調整して、ロータリーの為の時間を作ってください。

幹事報告

伊藤 健司 幹事

・来週の例会(30日)において細則・内規の変更について決議を行います。

・6月20日の例会(クラブ協議会)は夜間例会となります。
 場所:清風(高座渋谷)
 時間:18:30～



【ポスティング】

・次第・週報・クラブフォーラ資料1枚
 ・救急救命講習会のご案内(吉岡会員より)

【回覧】

・相模原南RC週報

委員会報告

◆親睦家族委員会 / 石高誠一会員

5月28日(日)家族会のバス旅行について

◆社会奉仕委員会 / 吉岡善一会員

6月25日(日)14:00～、救急救命講演会を開催します。『心肺蘇生法』と「AEDの使用法」を学びます。ご家族、社員の方もご参加ください。無料です。



出席報告
道岸委員長



相原聡ソングリーダー

スマイルBOX

本日 ¥15,000 累計 ¥741,223

◆大和中RC高橋清様 / 本日はお世話になります。よろしくお願いいたします。

◆宮東悠会長 / 今月は「青少年奉仕月間」のクラブフォーラム。古川委員長はじめ青少年委員の皆様、よろしくお願いいたします。

◆伊藤健司幹事 / 本日はクラブフォーラム「青少年奉仕」についてです。古川委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

◆松川清会員 / 真夏のような猛暑が続きます。少し早い暑中見舞いですが、お元気ですか。ロータリーの今年度も少なくなりました。

◆花岡正会員 / 28日家族会楽しみですね? 迷子にならないようによろしくね!! 集合は9時50分ですよ。

◆古川毅会員 / 本日は青少年奉仕委員会、クラブ公開討論会です。会員の皆さん、よろしくお願いいたします。

◆古木通夫会員 / 仕事が「ひま」になったのに、草むしりの時間がなかなか取れない! 草の成長に負けそうです。

◆伊藤彦二会員 / 明日妻も私と同じ年代に入ります。

◆石高誠一会員 / 今度の日曜日、28日は親睦委員会

の行事で東京にバス旅行ですので、親睦委員の皆様力を合わせて成功させましょう。

◆増正之会員 / 引地川沿いの草刈り90%完了、疲れます。

◆真鍋藤正会員 / 第37回、全国まなべ会総会に行ってきました。今年 はうどん県の香川 讃岐まなべ会の担当で、琴平で開催。参加者101名。来賓として県知事も参加、盛大でした。金毘羅山には、若い人たちだけ参詣、私たち夫婦はふもとで待機、犬に代参させました。来年はパンダの飼育で日本一の紀州白浜まなべ会が担当です。今年同様、ひ孫を連れてパンダに会いに行きます。



スマイルボックス報告
松川委員長

第7回クラブフォーラム「青少年奉仕について」

青少年奉仕委員会 委員長 古川毅

【はじめに】<古川委員長のあいさつ>

本日のクラブフォーラムは、先週の卓話「青少年奉仕について」を受け、今後の大和ロータリークラブの「青少年奉仕のあるべき姿」を模索する場にしたいと思えます。フォーラムの進め方は、添付の資料を基に過去の青少年奉仕委員会に関わり合いの深い方々の話を軸に進めます。



<長谷川衛会員>

過去には将来のロータリアンを育成することを鑑みロータクト事業を行いました。その他、市内の児童クラブへ遊具や楽器類など支援しました。他の委員長は「さまざまな職業の方と語る会」など職業奉仕と連携した事業も実施しました。学校との折衝は多少難しいこともありますが、何れの事業も継続性が大切だと思います。

<古木通夫会員>

クラブとしての「青少年奉仕」を考える要諦は、『どのような(形での)支援が青少年のためになるか』を考えることです。それを実現するために、専門的に活動をしている団体(もしくは個人)と共同(協働)奉仕をすることが重要です。個人的には(PTA時代に)市子連への協力・支援が少年補導員という活動につながり、委員長として活動した際は、児童・生徒への音楽への啓蒙を考え、大和市音楽家協会と協働して「わくわくコンサート」という事業を展開しました。

<増正之会員>

青少年奉仕を考えるに、「その対象者」(幼・小・中・高)の実態を把握し、具体的にどのような支援をすれば効果的かを「組織」として考えることです。先ほどの古木会員の話にもあるように「青少年奉仕」を市内で実践している団体を調査し、どのような連携が出来るのか模索することが大切です。私は、自治会⇒子ども会⇒外郭団体(ex.サークルありんこ)という連携を重視して活動を展開しました。また過去に市内3クラブで共同実施した「交通事故撲滅大作戦」のように事業を通して青少年奉仕を実践していくことも効果的です。*これらのイベントは青少年奉仕という枠に留まらない包括的な奉仕活動になりました。青少年奉仕は、相手方のいる奉仕活動なので単年度で考えるよりも数年間継続して奉仕活動を行うことが大切だと思います。

<伊藤健司会員>

私は、インターアクトクラブ創設について調査・研究する時期に来ているのではと感じます。インターアクトクラブを通して様々な青少年奉仕が可能になり、青少年の成長を見守り、支援していくことにロータリアンとして強い意義を感じています。友好クラブである花巻南RCは2つのインターアクトクラブを有しており、日々のロータリー活動に大きな活力を得られていました。昨年に式典参加をした際にインタークラブ活動の成果を目の当たりにし素晴らしい事業だと感激しました。



次ページに続く